

株主・投資家の皆様へ

# 第72期報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

Quality products,  
Competitive prices, and  
Timely delivery

## 株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
第72期の業績について、ご報告させていただきます。



代表取締役会長

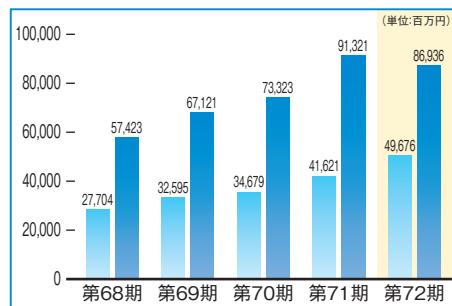
代表取締役社長

若山 恭二 増谷 修

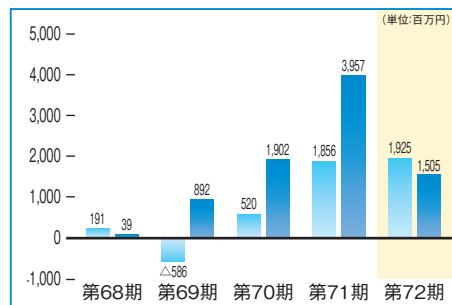
## ■決算ハイライト

# 世界的不況による

売上高 869億円  
前期比 4.8%減少



当期純利益 15億円  
前期比 61.9%減少



■ 第2四半期 ■ 通期

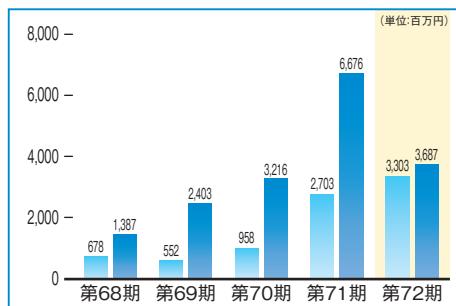
## 経営理念

想像力を豊かにし、  
これをより安く、

# 売上減が響き、4期ぶりに減益となりました

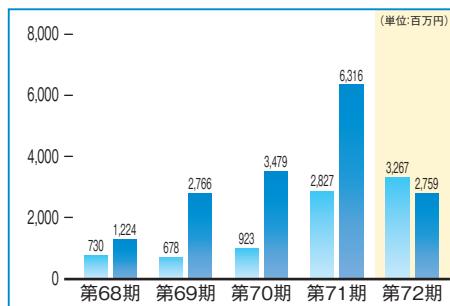
営業利益 36億円

前期比 44.8%減少



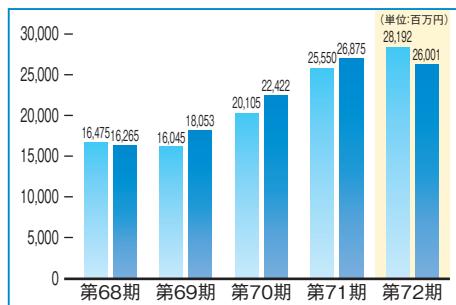
経常利益 27億円

前期比 56.3%減少



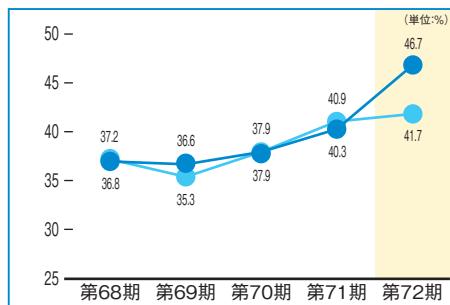
純資産 260億円

前期比 3.3%減少



自己資本比率 46.7%

前期比 6.4ポイント増加



● 第2四半期 ● 通期

これまでに存在しない全く新しい製品・サービスを創造し、  
より速く、世の中に提供することで、人々の豊かな暮らしに貢献いたします。

## Contents

|             |    |
|-------------|----|
| 株主の皆様へ      | 1  |
| 決算ハイライト     | 1  |
| 新中期経営計画について | 3  |
| 新製品紹介       | 5  |
| CSR         | 5  |
| 事業別営業の概況    | 6  |
| 決算の状況 (連結)  | 7  |
| 会社の概況       | 10 |
| 株式情報        | 10 |

## 特集企画「IMASENを知る」第2弾

# 新中期経営計画について - 誰もが誇れるIMASENを目指して -

IMASENでは、第69期（平成18年3月期）より中長期経営計画「Proud73」を展開し、これに沿って業容を拡大してまいりました。しかしながら、昨今の厳しい経営環境は、この計画の前提条件から著しく乖離していることから、この計画を1年前倒しで終了し、新たな3年間の中期経営計画を策定いたしました。中間報告書に続く特集企画「IMASENを知る」第2弾として、第73期（平成22年3月期）をスタートとするIMASENの新中期経営計画の概要をお知らせいたします。

### ■新中期経営計画テーマ

## Proud 2nd Stage (Recovery 1-2-3)

リカバリー= 3年間のステップ  
【名】回復、再生、復興

<狙い>  
激変する事業環境への変化の速やかな対応  
再び成長路線を捉えるための先行投資

第73期から第75期までの3年間で、  
再び成長路線への回復を実現し、  
誰もが誇れるIMASENを築き上げよう

### ■新中期経営計画事業ビジョン

## Recovery 1-2-3 Vision

### Step1. スリム：縮小した市場でも利益確保できる体制への絞込み

（減少した売上高でも黒字となるよう、固定費の圧縮を進める）

### Step2. シンプル：生産体制、事業構成を最適化

（経営環境の変化を先取りし、柔軟に対応できる経営体質を構築する）

### Step3. スピード：業務効率革新による高い生産性の実現

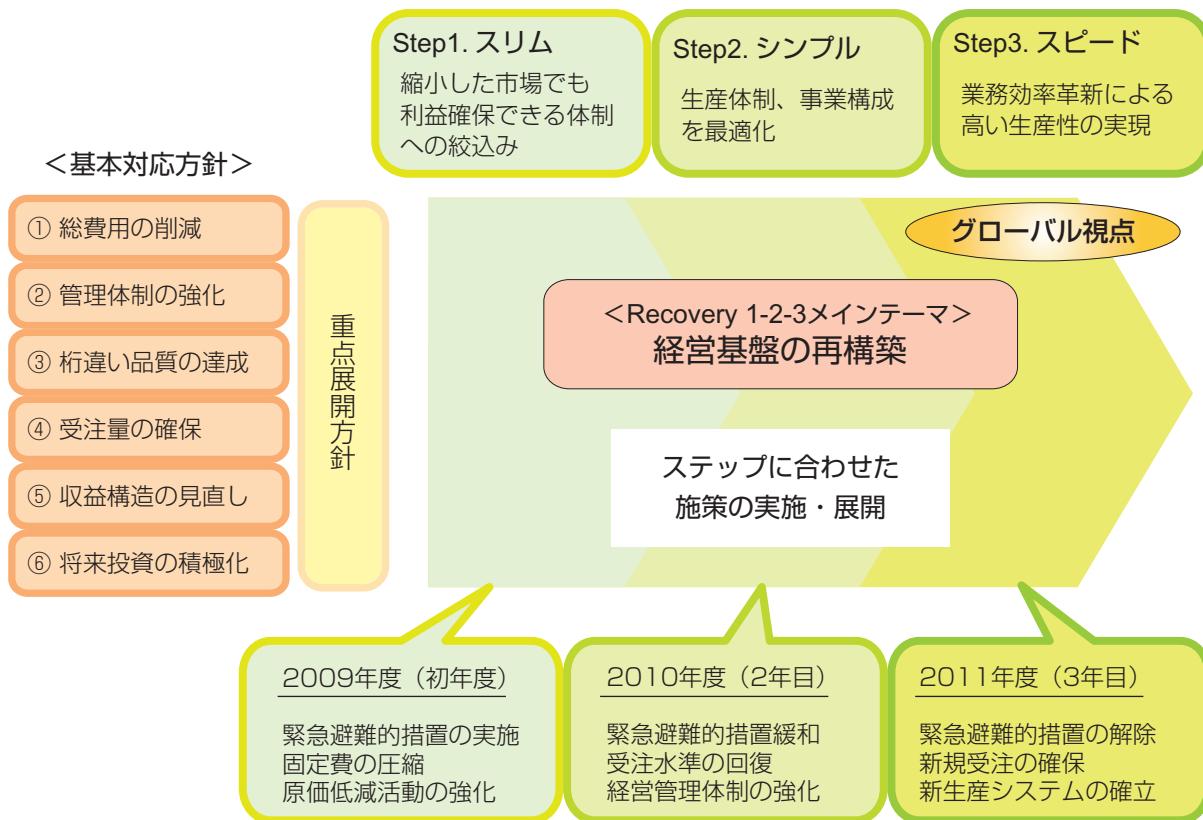
（全ての業務で既成概念にとらわれない改善を進め、最適化された事業を鍛え上げる）

IMASENを取り巻く経営環境につきましても、世界的な自動車販売の不振により、自動車産業全体として生産能力に余剰が生まれていることに加え、環境意識の高まりに伴うユーザーニーズの変化などもあり、自動車産業は大規模な構造変化の過渡期に突入しております。今後の市場動向は不透明であります。短期間での需要回

復は期待できないものと思われま

す。こうした厳しい経営環境を乗り越えるため、IMASENでは新たな中期経営計画として、**Proud 2nd Stage (Recovery 1-2-3)**「プラウドセカンドステージ（リカバリーワン・ツー・スリー）」を策定いたしました。

## ■新中期経営計画方針と展開イメージ



この新たな経営計画は、現在の経営環境が非常事態であることに加え、先行きが不透明な状況であることから、比較的短期間となる3年間の中期計画として策定したものであり、激変する経営環境の変化への速やかな対応と、その先に再び成長路線を捉えるための先行投資のバランスを意識した経営を目指したものであります。

第73期から第75期の3年間において、「スリム」「シンプル」「スピード」の3つをキーワードに、ステップを踏んで経営基盤の再構築に取り組んでまいります。

その基本対応方針といたしましては、まずは短期に対

応すべき課題である、総費用の削減、管理体制の強化、桁違い品質の達成などに対して確実に施策を実行していくことを優先してまいります。一方で、将来再び成長路線を捉えるための課題として、受注量の確保、収益構造の見直し、将来投資の積極化などの中長期的な成長に向けた準備を進めていく方針であります。

これらの課題に対し、グローバルな視点でステップに合わせた施策に取り組むことで、引き続き「誰もが誇れるIMASENの構築」を目指してまいります。

## ■新製品紹介

# 福祉車両向け回転リフトアップシートデバイスの製品化

**IMASEN**は、新製品として福祉車両向け回転リフトアップシートデバイスを開発し、ホンダの新型オデッセイ、ライフの福祉車両に採用いただきました。

この製品は足腰の悪い方の車の乗り降りを容易にすることを目的としたもので、シートを回転させ、斜め方向の昇降を行う機能を持たせたものであります。リフト機構の薄型化により、普通のシートと変わらない快適性と軽量化を両立した製品となっております。

今後一層の採用拡大を目指してまいります。



< ホンダ製品に搭載の当社シートデバイス >

## ■CSR

# 自転車安全運転教育を実施いたしました

**IMASEN**は、自動車に関わる事業を行う企業として、地域社会における交通安全の促進のため、子供たちを対象とした交通安全教室を実施いたしました。

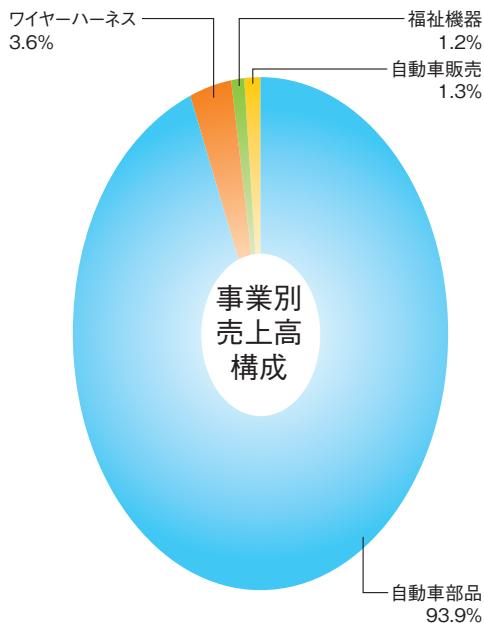
当社社員により、自転車の日常点検や安全なブレーキのかけ方、バランス走行等の指導を行いました。

今後もこのような活動を継続的に実施してまいります。



## ■事業別営業の概況

# 主力の自動車部品関連事業が減収減益となりました



## 自動車部品関連事業

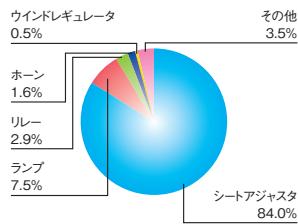
|       |           |
|-------|-----------|
| 売上高   | 81,615百万円 |
| (前期比) | 4.5%減     |
| 営業利益  | 3,346百万円  |
| (前期比) | 46.0%減    |



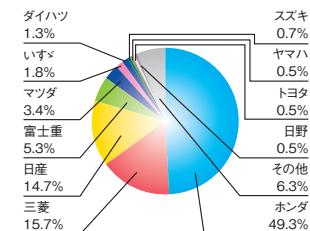
パワーシートアジャスタ

国内において前期に立ち上がった製品が寄与したこと、アジア地域における子会社が順調であったことから年度前半は比較的好調に推移しましたが、10月以降自動車の生産台数が急激に減少したことから減収減益となりました。

### ■製品別売上高構成



### ■販売先系列別売上高構成



## ワイヤーハーネス関連事業

|       |          |
|-------|----------|
| 売上高   | 3,173百万円 |
| (前期比) | 8.9%減    |
| 営業利益  | 247百万円   |
| (前期比) | 38.4%減   |

工作機械関連機器向けの売上が年度後半にかけて大幅に減少したことから減収減益となりました。

## 福祉機器関連事業

|       |          |
|-------|----------|
| 売上高   | 1,008百万円 |
| (前期比) | 8.4%増    |
| 営業利益  | 103百万円   |
| (前期比) | 84.4%増   |

受注拡大を目指し、新製品の開発、新規顧客の開拓を行うとともに総原価低減に取り組んでまいりました結果、増収増益となりました。

## 自動車販売関連事業

|       |          |
|-------|----------|
| 売上高   | 1,138百万円 |
| (前期比) | 21.5%減   |
| 営業利益  | △27百万円   |
| (前期比) | —        |

国内自動車販売の低迷が続く中で、景気の減速感が急速に広まったことから受注の大幅な減少となり、減収、損失計上となりました。

## 決算の状況（連結）

### 連結貸借対照表

（単位：百万円）

| 年度別           | 前連結会計年度末<br>(平成20年3月31日) | 当連結会計年度末<br>(平成21年3月31日) | 年度別            | 前連結会計年度末<br>(平成20年3月31日) | 当連結会計年度末<br>(平成21年3月31日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|----------------|--------------------------|--------------------------|
| 科目            |                          |                          | 科目             |                          |                          |
| <b>【資産の部】</b> |                          |                          | <b>【負債の部】</b>  |                          |                          |
| 流動資産          | 36,152                   | 26,847                   | 流動負債           | 28,432                   | 17,883                   |
| 現金及び預金        | 4,679                    | 4,898                    | 支払手形及び買掛金      | 15,558                   | 9,887                    |
| 受取手形及び売掛金     | 23,144                   | 14,734                   | 1年内償還予定の社債     | 500                      | —                        |
| たな卸資産         | 5,473                    | 4,867                    | 短期借入金          | 4,994                    | 3,231                    |
| その他           | 2,860                    | 2,351                    | 未払法人税等         | 1,432                    | 74                       |
| 貸倒引当金         | △4                       | △3                       | 賞与引当金          | 1,137                    | 936                      |
| 固定資産          | 28,214                   | 26,877                   | その他            | 4,808                    | 3,753                    |
| 有形固定資産        | 24,859                   | 24,011                   | 固定負債           | 9,059                    | 9,840                    |
| 建物及び構築物（純額）   | 8,221                    | 7,481                    | 社債             | 3,848                    | 3,803                    |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 8,365                    | 7,789                    | 長期借入金          | 1,679                    | 2,592                    |
| その他（純額）       | 8,272                    | 8,739                    | 退職給付引当金        | 1,937                    | 1,872                    |
| 無形固定資産        | 186                      | 279                      | その他            | 1,594                    | 1,573                    |
| その他           | 186                      | 279                      | 負債合計           | 37,491                   | 27,723                   |
| 投資その他の資産      | 3,168                    | 2,587                    | <b>【純資産の部】</b> |                          |                          |
| 投資有価証券        | 2,767                    | 2,271                    | 株主資本           | 24,682                   | 25,816                   |
| その他           | 438                      | 351                      | 資本金            | 4,374                    | 4,396                    |
| 貸倒引当金         | △36                      | △35                      | 資本剰余金          | 4,107                    | 4,129                    |
| 資産合計 POINT①・② | 64,367                   | 53,725                   | 利益剰余金          | 16,205                   | 17,397                   |
|               |                          |                          | 自己株式           | △5                       | △107                     |
|               |                          |                          | 評価・換算差額等       | 1,255                    | △741                     |
|               |                          |                          | その他有価証券評価差額金   | 941                      | 550                      |
|               |                          |                          | 為替換算調整勘定       | 313                      | △1,291                   |
|               |                          |                          | 少数株主持分         | 938                      | 925                      |
|               |                          |                          | 純資産合計 POINT①・② | 26,875                   | 26,001                   |
|               |                          |                          | 負債純資産合計        | 64,367                   | 53,725                   |

#### POINT① 総資産・純資産

売上の減少に伴い、売掛債権、買掛債務が減少したことから、総資産は53,725百万円（前期末比10,642百万円の減少）となりました。

純資産につきましては、円高の進行に伴う為替換算調整勘定の影響などにより、26,001百万円（前期末比874百万円の減少）となりました。

なお、1株当たり純資産額は1,423円63銭となっております。



#### POINT② 自己資本比率

総資産の大幅な圧縮に対して、純資産の減少幅が抑えられたことから、自己資本比率は前期比6.4ポイントの改善となる46.7%となりました。



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目           | 年度別    | 前連結会計年度<br>(平成19年4月1日から<br>平成20年3月31日まで) | 当連結会計年度<br>(平成20年4月1日から<br>平成21年3月31日まで) |
|--------------|--------|--|--|
| 売上高          | POINT③ | 91,321                                   | 86,936                                   |
| 売上原価         |        | 76,665                                   | 75,901                                   |
| 売上総利益        |        | 14,656                                   | 11,035                                   |
| 販売費及び一般管理費   |        | 7,980                                    | 7,348                                    |
| 営業利益         | POINT④ | 6,676                                    | 3,687                                    |
| 営業外収益        |        | 306                                      | 535                                      |
| 営業外費用        |        | 666                                      | 1,464                                    |
| 経常利益         |        | 6,316                                    | 2,759                                    |
| 特別利益         |        | 3  | 56                                       |
| 特別損失         |        | 123                                      | 528                                      |
| 税金等調整前当期純利益  |        | 6,196                                    | 2,287                                    |
| 法人税、住民税及び事業税 |        | 2,115                                    | 497                                      |
| 法人税等調整額      |        | 10                                       | 200                                      |
| 少数株主利益       |        | 112                                      | 82                                       |
| 当期純利益        |        | 3,957                                    | 1,505                                    |

### POINT③ 売上高

上期におきましては、新規製品の効果もあり、前年同期比で増収となりましたが、下期以降の世界的規模で拡大した自動車減産の影響を大きく受け、通期では、86,936百万円（前期比4,384百万円の減少）となりました。



## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位：百万円)

| 科目               | 年度別    | 前連結会計年度<br>(平成19年4月1日から<br>平成20年3月31日まで) | 当連結会計年度<br>(平成20年4月1日から<br>平成21年3月31日まで) |
|------------------|--------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | POINT⑤ | 7,840                                    | 7,978                                    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー |        | △8,038                                   | △5,276                                   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー |        | 1,303                                    | △1,971                                   |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 |        | 0  | △387                                     |
| 現金及び現金同等物の増加額    |        | 1,106                                    | 342                                      |
| 現金及び現金同等物の期首残高   |        | 3,111                                    | 4,217                                    |
| 現金及び現金同等物の期末残高   |        | 4,217                                    | 4,559                                    |

### POINT④ 営業利益

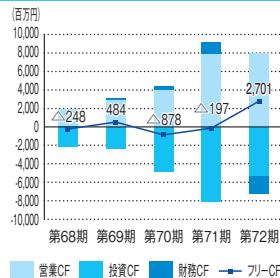
円高の進行、鋼材をはじめとした原材料値上げの影響、減価償却費の負担増などに加え、下期からの売上減少が大きな収益悪化要因となり、緊急対策を含めた原価低減に努めたものの、営業利益は前期を2,988百万円下回る3,687百万円となりました。



### POINT⑤ フリーキャッシュ・フロー

利益額は減少したものの、売掛債権の回収が進んだことから、営業活動によるキャッシュ・フローを維持した一方、設備投資の抑制により、投資活動によるキャッシュ・フローが減少し、フリーキャッシュ・フローは2,701百万円となりました。

なお、財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の返済に充てたものであります。



## 連結株主資本等変動計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：百万円)

|                           | 株主資本  |       |        |      |        |
|---------------------------|-------|-------|--------|------|--------|
|                           | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金  | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 前期末残高                     | 4,374 | 4,107 | 16,205 | △5   | 24,682 |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減        |       |       | 24     |      | 24     |
| 連結会計年度中の変動額               |       |       |        |      |        |
| 新株の発行（新株予約権の行使）           | 22    | 22    |        |      | 44     |
| 剰余金の配当                    |       |       | △338   |      | △338   |
| 当期純利益                     |       |       | 1,505  |      | 1,505  |
| 自己株式の取得                   |       |       |        | △102 | △102   |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額） |       |       |        |      |        |
| 連結会計年度中の変動額合計             | 22    | 22    | 1,167  | △102 | 1,110  |
| 当期末残高                     | 4,396 | 4,129 | 17,397 | △107 | 25,816 |

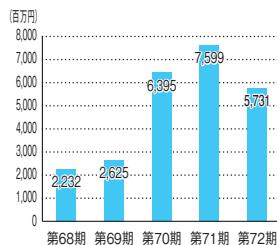
|                           | 評価・換算差額等         |              |                | 少数株主持分 | 純資産合計  |
|---------------------------|------------------|--------------|----------------|--------|--------|
|                           | その他有価証券<br>評価差額金 | 為替換算<br>調整勘定 | 評価・換算<br>差額等合計 |        |        |
| 前期末残高                     | 941              | 313          | 1,255          | 938    | 26,875 |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減        |                  |              |                |        | 24     |
| 連結会計年度中の変動額               |                  |              |                |        |        |
| 新株の発行（新株予約権の行使）           |                  |              |                |        | 44     |
| 剰余金の配当                    |                  |              |                |        | △338   |
| 当期純利益                     |                  |              |                |        | 1,505  |
| 自己株式の取得                   |                  |              |                |        | △102   |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額） | △391             | △1,605       | △1,996         | △12    | △2,009 |
| 連結会計年度中の変動額合計             | △391             | △1,605       | △1,996         | △12    | △898   |
| 当期末残高                     | 550              | △1,291       | △741           | 925    | 26,001 |

### ご参考

#### 設備投資

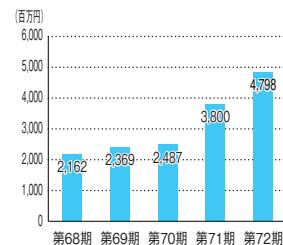
前期までに新工場建設等の大型投資が一巡したことに加え、経営環境が不透明な状況となったことから、下期以降の投資案件を見直し、大幅に抑制した結果、設備投資額は5,731百万円（前期比1,868百万円の減少）となりました。

※第72期よりリース資産分を設備投資額に含めております。



#### 減価償却費

前期までに行った設備増強による負担が増加したことに加え、会計制度の変更に伴う償却年数の短縮、リース処理の変更などにより、減価償却費は4,798百万円（前期比998百万円の増加）となりました。



## ■ 会社の概況 (平成21年3月31日現在)

### ◆ 会社の概要

|        |   |
|--------|---|
| 社名     | 株式会社 今仙電機製作所<br>Imasen Electric Industrial Co.,Ltd.                 |
| 設立     | 昭和14年2月1日   |
| 資本金    | 4,396百万円  |
| 主な事業内容 | 自動車用機構製品及び電装製品の製造・販売  |
| 従業員数   | 3,992名 (連結)   |
| 本社所在地  | 愛知県犬山市字柿畑1番地  |
| 営業所    | 東京支店 / 広島支店 / 栃木支店  |
| 工場     | 名古屋工場 / 岐阜工場 / 八百津工場 /<br>岡山工場 / 春里工場 / 可児工場 / 広島工場 /<br>株式会社九州イマセン |
| 海外拠点   | 台湾 / フィリピン / 米国 /<br>中国 / タイ / インド                                  |

### ◆ 役員 (平成21年6月18日現在)

|         |       |       |       |
|---------|-------|-------|-------|
| 代表取締役会長 | 若山 恭二 | 取締役   | 坪内 明  |
| 代表取締役社長 | 増谷 修  | 取締役   | 山田 博  |
| 専務取締役   | 上西 正司 | 取締役   | 藤掛 治  |
| 専務取締役   | 梅田 敏雄 | 常勤監査役 | 河村 則行 |
| 常務取締役   | 宇根 敏昭 | 常勤監査役 | 大澤 慶文 |
| 取締役     | 植松 俊夫 | 監査役   | 尾関 誠治 |
| 取締役     | 渡邊 和彦 | 監査役   | 宮澤 俊夫 |
| 取締役     | 丹羽 和秋 |       |       |
| 取締役     | 中島 良紀 |       |       |

## ■ 株式情報 (平成21年3月31日現在)

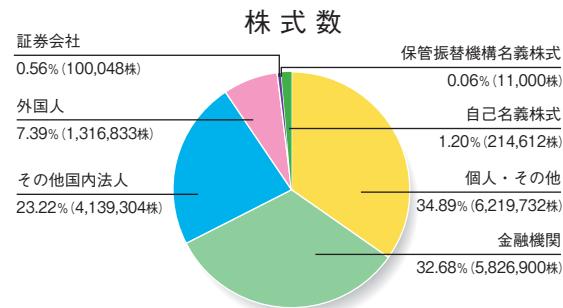
### ◆ 株式の状況

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 49,195,000株 |
| 発行済株式の総数 | 17,828,429株 |
| 株主数      | 4,392名      |

### ◆ 大株主 (上位10名)

| 株主名                       | 当社への出資状況  |        |
|---------------------------|-----------|--------|
|                           | 所有株数 (株)  | 比率 (%) |
| 本田技研工業 (株)                | 1,066,250 | 5.98   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株 (信託口)     | 786,500   | 4.41   |
| IMASEN取引先持株会              | 705,800   | 3.95   |
| ヤマハ発動機 (株)                | 613,750   | 3.44   |
| (株)三菱東京UFJ銀行              | 605,000   | 3.39   |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株 (信託口4G) | 588,600   | 3.30   |
| 今仙電機従業員持株会                | 547,916   | 3.07   |
| (株)第三銀行                   | 505,000   | 2.83   |
| 東京海上日動火災保険 (株)            | 505,000   | 2.83   |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株 (中央三井)  | 468,000   | 2.62   |

### ◆ 所有者別分布状況



### ◆ 配当金の推移



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日  
中間配当：毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店  
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
- 同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
- 単元株式数 100株
- 証券コード 7266 (東京・名古屋証券取引所市場第一部)

### 当社ホームページ紹介

当社及びグループ会社の概要、財務・製品・採用・決算等の最新情報につきましては、ホームページにてご案内しております。ぜひ、下記アドレスまでアクセスしていただきますようご案内申し上げます。

URL <http://www.imasen.co.jp/>

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。  
配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。

## 株主の皆様のお声をお聞かせください

当社では、株主の皆様のお声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 7266

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、  
いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールにより  
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも  
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、  
右のQRコードからもアクセスできます。



株式会社今仙電機製作所

〒484-8507 愛知県犬山市字柿畑1番地

TEL (0568) 67-1211 (代表)



この報告書は、環境に配慮し、  
FSC森林認証紙と大豆油インキを  
使用しております。